

「豊かな育ち」と「確かな学び」の実現にむけて

大槌町のコミュニティ・スクールの取り組み

ふるさと科をはじめとした

地域住民との協働について

岩手県 大槌町立大槌学園
副校長 小笠原 浩

岩手県 大槌町教育委員会
学校支援地域コーディネーター 木村 里美

ひょうたん島のある町 **おおつち**



- リアス式海岸美
- 面積 200.59km²
- 人口 12,130人(2017/8/31)
- 基幹産業・水産業



本日の発表内容

- 1 「小中一貫教育」の導入と
「コミュニティ・スクール」の推進
- 2 大槌学園の取り組み
- 3 学校支援地域コーディネーターの役割
◆「ふるさと科」のコーディネート

現在の大槌町の街並み(29年9月)

本日の発表内容

- 1 「小中一貫教育」の導入と
「コミュニティ・スクール」の推進
- 2 大槌学園の取り組み
- 3 学校支援地域コーディネーターの役割
◆「ふるさと科」のコーディネート

小中一貫教育導入の背景

震災前からの課題

学力向上
不登校・問題行動
小・中の段差
指導方法の改善

中1ギャップへの対応



早まる成長 → 思春期の早期化、自意識の芽生え
自尊感情の低下

小学校と中学校がより連携を深め、学校・家庭・
地域住民が協働して総合的に子どもたちを育む仕組み

5

震災後の課題

■校舎の被災

小学校4校、中学校1校が被災
→学習の場がない→不安感

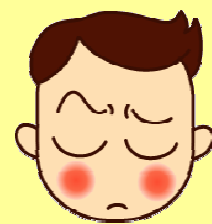
■生活環境の変化(被災状況調査6月現在)

→避難所や仮設住宅での生活

仮設生活児童生徒 H25年 40%⇒ H29年 17%

→生活ストレス等

要サポート児童生徒数 H25年 20%⇒ H28年 14%



★教育環境の復興

→安心して学べる新しい学校の建設

→9年間の継続性を持った心のケア

★学校だけでは解決できない課題解決への取組

→学校・家庭・地域住民の連携・協働でつくる教育

6

大槌町の 教育

9年間を
貫く教育

ふるさと
科

コミュニティ・
スクール

ポイント:「9年間をつなぐ育ちと学び」の手段として「ふるさと科」と「コミュニティ・スクール」をセットで行っている。

「ふるさと科」

(平成24年12月18日 文部科学省「教育課程特例校」指定)

「ふるさと科」でねらうもの

生きる力

ふるさと創生

復興・防災を基盤とした「生きる力」
及び「ふるさと創生」を推進し、
地域や自分の生き方を見つめ、
大槌町の復興発展を担いうる人材の育成

学校・家庭・地域が一体となり、連携・協働して実現していく

小中一貫教育における学校の配置

大槌町小・中学校 4校を小中一貫教育校に指定（H27～）

大槌学園

吉里吉里学園

施設一体型小中一貫教育

施設分離型小中一貫教育

義務教育学校

併設型小中一貫校



崩壊したコミュニティを
新しく作り出していく地域

既存の校舎を活用し、これまでのコミュニティ
の良さを維持し豊かにしていく地域

大槌が目指す 子どもの姿	学校での取組	子どもの取組	家庭での取組	地域での取組
すすんで学ぶ人 基礎基本を身につけ、 活用し、応用する	<ol style="list-style-type: none"> 積極的に挑戦できる環境を作る 表現力を身につけ、人に伝える 自ら学ぶ力や意欲を身につける 読書が好きになる環境を作る 	<ol style="list-style-type: none"> 先生の話を良く聞く 授業でわからないことがあったらそのままにしない 宿題を忘れずにやる 時間のけじめをつけて家庭学習をやる 忘れ物をしない 読書をする 	<ol style="list-style-type: none"> 保護者として子どもが家庭学習に集中できるような環境（時間・場所）をつくる 保護者として子どもが自分で予定を立てて勉強するように声掛けする 	<ol style="list-style-type: none"> 子どもが体験を通して学ぶ活動やイベントを行う 放課後や長期休業中に子どもたちが学べる活動を行う
自立する人 主体的に判断し・ 行動する	<ol style="list-style-type: none"> 互いを認め合える学級づくり 他学年の子どもと交流し、協力できるようにする あいさつ・感謝の気持ちを伝えられるようにする 時間を守り、けじめのある集団生活ができる学級をつくる 子どもが将来の夢や希望を持つこと 	<ol style="list-style-type: none"> 親子で学校であったことについて話す 友達のいいところを認めたり、思いやりのある声掛けをする 自分から進んであいさつをする 家のお手伝いをする 学校生活のルールを守る 	<ol style="list-style-type: none"> 親子での対話を大切にすること 親子で話し合い、毎日できるお手伝いを決めて、継続する 大人が子どもに挨拶などの手本を示す 子どもが約束の時間を守って行動できるようにする 	<ol style="list-style-type: none"> 子どもの体験を深める活動を行う 子どもたちの活躍を地域の大人が褒める 大人が子どもに挨拶などの手本を示す
たくましい心と体をもつ人 心と体をつくる	<ol style="list-style-type: none"> 食育の推進 運動・部活動の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を持って運動・部活に取り組む 睡眠をとる。時間になったら自分で寝て、自分で起きる 時間を守って行動する 身の回りの整理整頓・そうじをする 	<ol style="list-style-type: none"> 子どもが早寝早起きなど、規則正しい生活ができるようにする (小) 子どもが食べ物の好き嫌いを無くすようにする 子どもが身だしなみや身の回りの整理整頓ができるようにする 	<ol style="list-style-type: none"> 子どもが体力づくりや遊ぶことができる活動やイベントを行う
地域・社会を愛し、貢献する人 地域を愛する心と行動	<ol style="list-style-type: none"> 子どもが安心して学校に通える環境を作る 地域と関わる学習でつながりを深めていく 学校行事・地域行事を通して成長できる環境をつくる 保護者や地域に学校での出来事を伝える 防災訓練を行い、災害に備える 	<ol style="list-style-type: none"> 大槌の良いところを学び、伝える 地域のお祭や伝統芸能を学ぶ 交通ルールを守る 防災訓練を通して命の守り方を学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> 家庭でできる防災について話し合う 学校や社会のルールについて親子で話す 子どもが地域のイベントや行事に参加することを応援する 	<ol style="list-style-type: none"> 防災の取組を広げ、災害に備える 安全で安心な環境を作る 清掃活動を通して、きれいな街をつくる ふるさとの祭りや郷土芸能を子どもに伝える 交通事故に合わない環境をつくる 子どもが困ったときに助けられる環境を作る
推進方策	<ul style="list-style-type: none"> 学校・学級経営計画への位置づけ 	<ul style="list-style-type: none"> 毎期の個人や学級のめあて 児童会・生徒会の取組 	<ul style="list-style-type: none"> PTAでの取組 広報・懇談会等での発信 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民・団体の取組 広報・懇談会での発信
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 教員の自己評価 授業評価 外部アンケート（12月実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒向けアンケート（12月実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート（12月実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会（12月頃実施）

大槌が目指す 子どもの姿 (2017版)	学校での取組	子どもの取組	家庭での取組	地域での取組
すすんで学ぶ人 基礎基本を身につけ、 活用し、応用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会に貢献するグローバルな人間を育てる 2. 授業スタイルの確立・家庭学習の充実 3. "学びの場"による放課後の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先生の話をよく聞く 2. 勉強の目標を持つ 3. 時間のけじめをつけて家庭学習をやる 4. 読書をする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの学習の目標を共に考え、確認する 2. 学校から帰ってきたら、すぐに勉強に取り組める環境を整えておく 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放課後や長期休業中に子どもたちの"学びの場"を創る 2. 郷土のみでなく、広く世界の事を学べる場を創る
自立する人 主体的に判断し・ 行動する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気持ちや考えを伝える力を育てる 2. チームワークを育てる 3. 目標に向かって行動する子どもを育てる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親子で学校であったことについて話す 2. 友達のいいところを認めたり、思いやりのある声掛けをする 3. 学校生活のルールを守る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが自ら気がつく習慣を育てる 2. 学校での出来事について子どもと話す 3. 場面に合わせた言葉づかいができるようにする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場体験・ボランティアなど、社会参画の場を創る 2. あいさつの手本を示す
たくましい心と体をもつ人 心と体をつくる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体を鍛え、健康を管理する力を育てる 2. 子どもが大人に相談できる関係づくり 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を持って身体を鍛える 2. 規則正しい生活習慣を身につける 3. 自分から進んであいさつをする 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが早寝早起きなど、規則正しい生活ができるようにする 2. あいさつの習慣を身につける 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが外で遊べる場や機会を創る
地域・社会を愛し、貢献する人 地域を愛する心と行動	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと科の充実。郷土から学び、発信する 2. 校舎を地域と繋がる場にする 3. 自らの命を大切に教育 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさとから学び、伝える 2. 防災訓練を通して命の守り方を学ぶ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域行事への参加・親同士の交流 2. 家族の防災ルールを考える 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの見守り。防災の取組を広げ、災害に備える 2. ふるさとの祭りや郷土芸能を子どもに伝える
推進方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・学級経営計画への位置づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎期の個人や学級のめあて ・ 児童会・生徒会の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTAでの取組 ・ 広報・懇談会等での発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民・団体の取組 ・ 広報・懇談会での発信
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の自己評価 ・ 各種調査の活用 ・ 学園研究会での検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒向けアンケート (7月・12月実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケート (12月実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ CS等による振り返り (年度末実施)

コミュニティ・スクールの一層の推進

大槌町コミュニティ・スクール協議会

評価検証委員会

報告

報告

大槌学園

H27年度～ 学校運営協議会の開催
H28年度～ コミュニティ・スクール

吉里吉里学園

H27年度～ 学校運営協議会の開催
H28年度～ コミュニティ・スクール

報告

学校・家庭・地域住民(NPO含む)

子供支援部会

地域学校協働部会

地域学校安全部会

※ 部会ごとに年3回以上の話し合いを持つ。

コミュニティ・スクールの一層の推進

委員会名 部会名	主な活動内容 (協議内容)	主なメンバー
評価検証 委員会	○学校運営協議会の報告 ○各部会の今年度の方針 ○目標設定・効果測定について	学校運営協議会長、PTA会長・副会長、 教育委員、各学校長、各部会長、 教育委員会等
子供支援 部会	○放課後や長期休業、土曜日 の子ども居場所づくりや学習 支援について	教員、保護者、地域住民、保健福祉課、 スクールカウンセラー、スクールソーシャル ワーカー、教育委員会、NPO等
地域学校 協働部会	○「ふるさと科」の推進について ○地域ボランティアについて	教員、保護者、地域住民、 学校支援コーディネーター、 商工会、教育委員会、NPO等
地域学校 安全部会	○通学路交通安全プログラムの 実施 ○学校安全計画の検討	教員、保護者、警察、三陸国道事務所、 沿岸広域振興局道路整備課、 大槌町役場職員、教育委員会等

13

本日の発表内容

- 1 「小中一貫教育」の導入と
「コミュニティ・スクール」の推進
- 2 大槌学園の取り組み
- 3 学校支援地域コーディネーターの役割
 - ◆「ふるさと科」のコーディネート



【関わる・つながる①】

▲地区役員が決まらない ▲PTA総会は一方通行

☆「地区懇談会」を関わる機会に

①まずは「子育て上の悩み」や
「今困っていること」から



②地区ごとの懇談内容を
全体で共有

【関わる・つながる②】

☆進んで

地域に足を運ぶ

保安員(スクールガード)



放課後子供支援団体



郷土芸能団体(虎舞の練習)



【共に活動する】

☆同じ目的意識、達成感の共有

・夏休み中の地区子供会活動

「ラジオ体操」 →

「ゴミ拾い」等



新校舎落成1周年記念

← 植樹活動(PTA主催)

【思いや願いを共有する】

☆これからのコミュニティの姿を共に考える

- ・家庭、地域、学校それぞれの願いや意見を共有する場や機会の設定
- ・地区での諸活動の再開、活性化と情報交換
- ・新校舎落成一周年を記念するイベントとしての「PTA祝賀会」の開催

PTAの自主的な取り組みの充実を目指します

「大槌学園PTAまなびフェスト」

※「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を確立します。

※ノーメディアの中で家庭学習を継続させます。

※「時と場、相手に応じた挨拶・言葉遣い」の指導を行います。

※携帯電話・スマートフォン等をもたせないように協力します。

※夜9時以降のメール・LINE・電話等の使用禁止を徹底します。

※家庭での語り・読書の場を設けます。

※子どもたちの登下校の安全確保に協力します。



3年 探検・発見大槌町



すごい、みつばちがいっぱい
いた！



4年 平成の杜 植樹会



横浜ゴムの方に教えてもらいながら、心
をこめてていねいに植樹をしたよ！



7年 防災学習



8年 特産品販売(盛岡市)

大槌学園8年生による 大槌ひょうこり市場

平成28年8月3日
クロステラス盛岡

越田鮮魚店
商品: のしい
※大槌産のイ

河合商店
商品: 塩蔵わかめ
※三陸産わかめ

大槌ひょうこり市場
平成28年8月30日(木) 10:30 ~ 15:30
クロステラス盛岡前 / 肴町商店街(北側前) / カワトク前

大坂屋菓子店
商品: お菓子詰め合わせ
値段: 1,200円 (税別)

菓子工房エルマー
商品: お菓子詰め合わせ
値段: 1,200円 (税別)

藤原勝志さんの
はちみつ
大槌の養蜂場
採れたて!
値段: 500円 (税別)

おいしいお菓子
ぜひ来てね!

大槌学園8年生による 大槌ひょうこり市場

平成28年8月30日
クロステラス盛岡前

大坂屋菓子店
商品: お菓子詰め合わせ
値段: 1,200円 (税別)

菓子工房エルマー
商品: お菓子詰め合わせ
値段: 1,200円 (税別)

藤原勝志さんの
はちみつ
大槌の養蜂場
採れたて!
値段: 500円 (税別)

河合商店
塩蔵わかめ<三陸産>
味付け+新作物、ツリゴトする
とておいしいです!
値段: 500円 (税別)

佐々木重吾さんの
新鮮野菜
前日午後には採れたての
野菜がどっさり新鮮です!

のしいか <大槌産>
※大槌産のイ
値段: 400円 (税別)

六車商店
すきんぶ 840円
ふわり 640円
マンモ 640円
※大槌産のイ
※大槌産のイ
※大槌産のイ

9年 東京での特産品宣伝



パワーアップするふるさと科



パワーアップするふるさと科



27

パワーアップするふるさと科



28

本日の発表内容

- 1 「小中一貫教育」の導入と「コミュニティ・スクール」の推進
- 2 大槌学園の取り組み
- 3 学校支援地域コーディネーターの役割
◆「ふるさと科」のコーディネート

29

コミュニティ・スクールにおける コーディネーターの役割



○主な活動内容

- 1 学校支援地域カレンダーの作成
- 2 「ふるさと科」のコーディネート
学校、地域との打ち合わせ
- 3 教育委員会事務局との打ち合わせ